

中期経営計画2019

2016年5月9日

株式会社インターワークス(東証1部:6032)

目的

- ・ HR業界において**存在感**を発揮し、**独自のポジション**を獲得する

基本方針

- ・ 既存の事業領域における**“ニッチトップ”**の達成と、**“最新のIT”**を活用した新規事業の創出により、加速的な成長を実現する

<既存事業領域>

ニッチ領域でトップを目指す

×

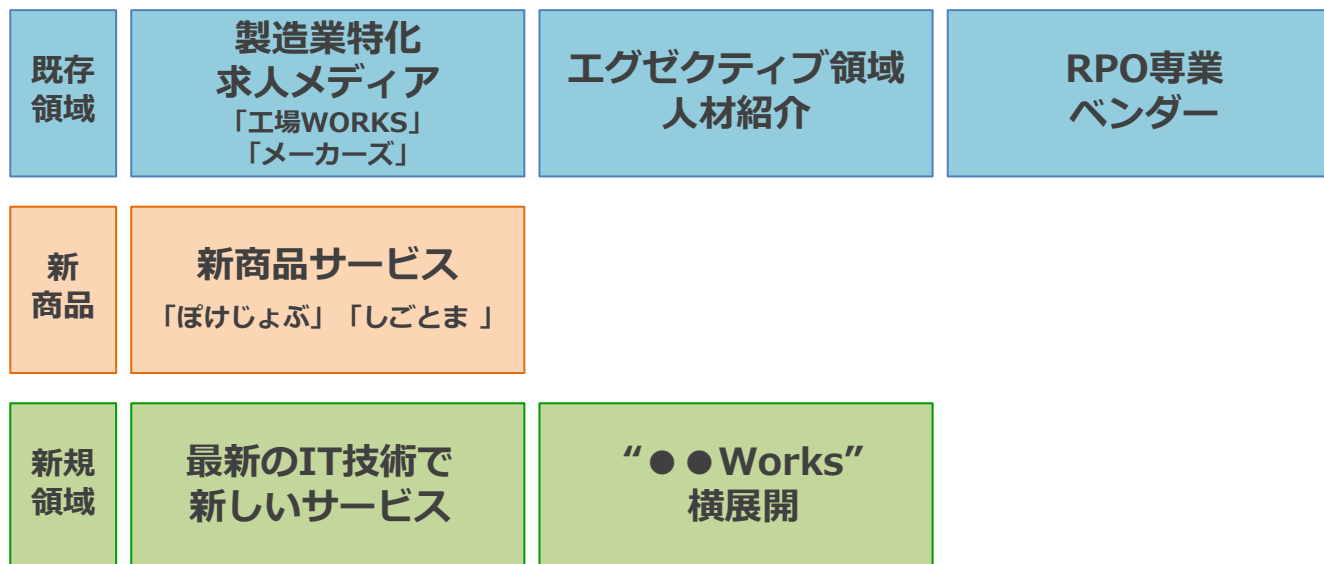
<新規事業領域>

最新ITを活用したサービス展開

基本戦略

“Segment No.1 (セグメント・ナンバーワン)”

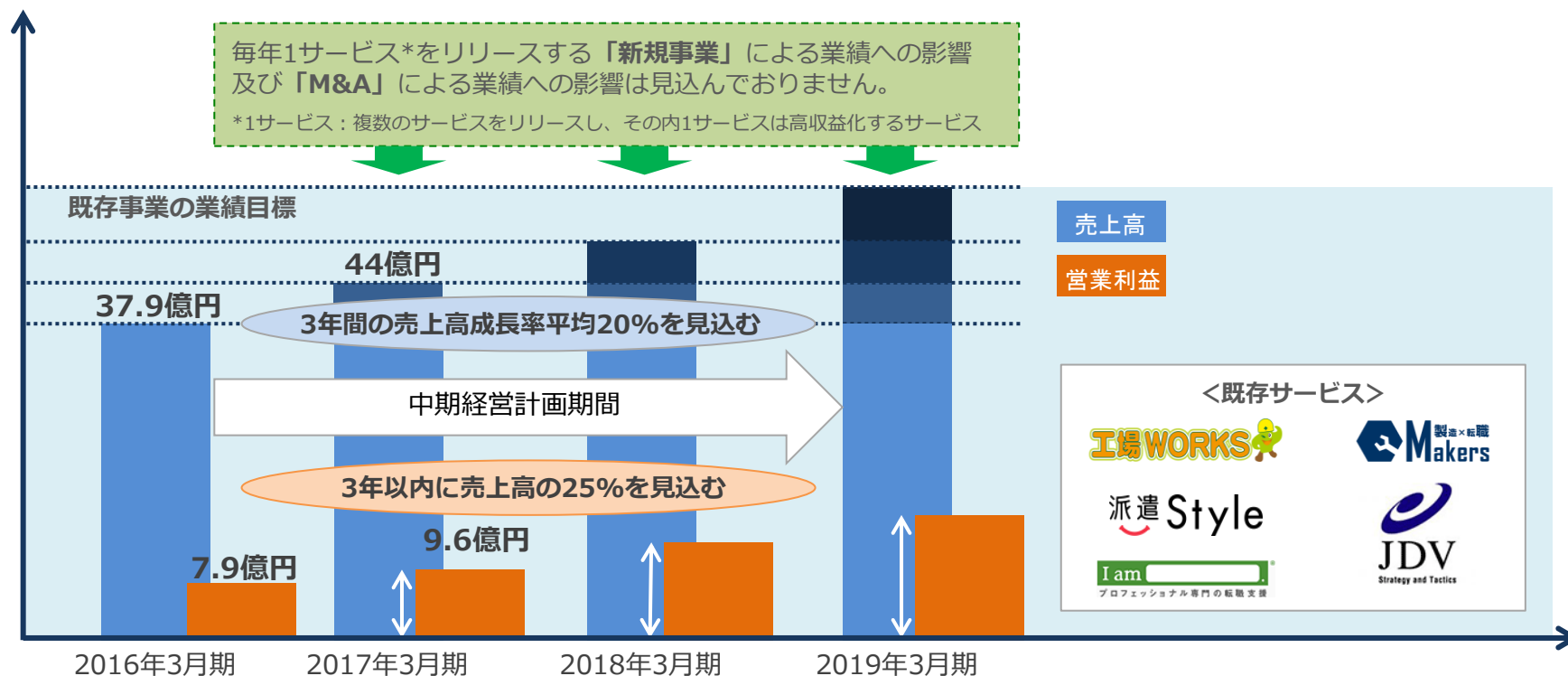
市場を独自の視点で細分化し、
 “No.1”の売上と収益が見込める**セグメント**を特定して
 事業を展開する



3カ年 業績目標

- ✓ 売上高は、前年対比【平均20%以上】の成長を見込む
- ✓ 営業利益率は、3年以内に売上高の【25%以上】を見込む

<3カ年業績推移予定>



| | | |
|-----------------------|---|--|
| <p>3力年業績目標</p> | <p>ROE</p> <hr/> <p>30%以上</p> | <p>当社では、企業価値の向上を図る指標として利益目標に加え株主資本の有効活用・資産の効率的活用を図る指標として自己資本利益率（ROE）を重要指標としており、その向上を経営の重要課題としております。当中期経営計画期間中に30%超えを目指します。</p> |
|-----------------------|---|--|

配当政策の基本的方針

配当政策の 基本方針

配当性向

40%以上

当社の利益配分につきましては業績の推移を見据え、株主各位に対する利益還元と事業機会に即応できる財務体質強化のための内部留保の蓄積を総合的に勘案し、適正な利益配分を実施することを基本方針としております。

この資料は、株式会社インターワークス（以下、当社）の現状をご理解頂くことを目的として、2016年5月9日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

